

2019（平成31）年度 京都大学 入試問題 理系 第2問 解答例

問一

良い批評家は、芸術家や作品の評価に際し、自分の考えが絶対正しいとは思わず、自分の好みや主観的傾向について意識して、読者を説得し、納得させる心構えと能力があるから。

問二

すぐれた音楽批評・音楽評論とは、音楽的対象の核心を端的な言葉で的確に特性指摘することであるから、凡庸で曖昧な言葉の使用は、批評目標の断念に等しいということ。

問三

芸術作品は核心以外の要素からも創造されているので、批評によって分かりやすくはならず、批評自身も、読者に新たな行動を多様に喚起しうる、言葉による芸術であるから。